

奏風

学校だより ※※そうふう※※

長崎県立対馬高等学校

校長室の窓



「耐雪梅花麗（雪に耐えて梅花うるわし）」

校長 鶴田 栄次

平成29年（2017年）が始まりました。年末年始は天気にも恵まれ、大掃除とお正月両方ともに好都合でした。（この奏風1月号が出る頃は、寒さが最も厳しくなっていることでしょう）この1年、対馬高校の生徒一人一人が、健康で、学校生活を有意義に送ってほしいと願っています。

さて、タイトルの「雪に耐えて梅花うるわし」は、西郷隆盛が詠んだ漢詩の一節ですが、昨年25年ぶりに優勝した広島東洋カープの黒田博樹投手が取り上げて、脚光を浴びた一節です。意味を説明すれば、「梅の花は、雪などの厳しい冬の寒さを耐え忍ぶからこそ、初春に香りのよい花を咲かせる。同じように、人は苦難や試練を克服すれば、大きく見事な成長がある」ということでしょうか。今の時期によく当てはまる一節だと思います。

3学期は寒さが厳しい時期と重なりますが、生徒の皆さんにとっては、もう少しでやってくる春（進学や就職、新学年）のための準備期間。おろそかにせず、対馬の寒さに耐えて、美しい花を咲かせてほしいと思います。



3学期早々大きな行事ですが、1月14日と15日に大学入試センター試験が実施されました。本校からは69人が受験しました。会場は、早朝から暗くなるまで過ごした本校校舎です。本校を会場としたセンター試験も9回目となりました。本土部の大学で受験していた頃の生徒たちの苦労を思うと隔世の感があります。大学入試センター並びに大学関係者の配慮に心から感謝申し上げたいと思います。センター試験に続いて、私立大学や国公立大学個別試験などがあります。69回生の健闘を祈ります。



桜ヶ丘寮より

桜ヶ丘寮を旅立つ皆さんへ

卒業おめでとう

皆さんが入寮してから、本当に様々なことがありました。その中でつらかった事、きつかった事もあれば、嬉しかった事、楽しかった事もたくさんあったと思います。親元を離れ3年間、立派に寮生活を送ってくれた皆さんには本当に感謝しています。

仲間たちと過ごしたかけがえのない日々はなにものにも変えることはできません。別れは名残惜しいと思いますが、一つ一つ思い出を積み重ねていった絆は消えないと思います。皆さんの思いを引き継いだ後輩たちは、伝統をしっかり守り、新しい桜ヶ丘寮を築いていっています。皆さんも社会に出て、寮生活で培った力を多に発揮し、活躍してくれることを期待しています。

舎務業務担当教員一同

3年生の皆さん、3年間の寮生活お疲れ様でした。

サプライズやイベント事が好きで、女子寮全体を明るく盛り上げ、引っ張って下さった3年生。今年度は後輩の人数が多く、全員をまとめることがとても大変だったと思います。私はそんな時でもできるだけ優しく、分かりやすいようにその都度教えていただいた姿を身近で感じることができました。これからは私たち2年生が先輩から教えていただいた様に後輩をまとめ、けじめある女子寮にしたいと思います。それぞれの道に分かれると思いますが、寮生活で学んだことを生かし頑張ってください。3年生の優しさ、明るさのおかげで桜ヶ丘寮にたくさんの“笑顔”が咲きました。本当にありがとうございました。

新女子寮長 大庭 芽依

3年生の皆さん、3年間親元を離れて生活してきたこの桜ヶ丘寮とも、別れの時となりました。今の気持ちはどうでしょうか。楽しい事も、苦しい事もたくさんあったと思います。しかし、どんな問題があっても先輩方は3年間ともに寮生活を送った仲間と話し合い、寮をよい方向に改善しようとしてきました。そんな先輩方の背中はとてもかっこよかったです。先輩方が受け継いだいい伝統を今度は僕たちが受け継ぐ番です。先輩たちのようにうまくいくかは分かりませんが、今の2年生9人が中心となって、この桜ヶ丘寮を引っ張っていきたいと思います。3年間寮生活お疲れ様でした。2年間本当にお世話になりました。これからも頑張ってください。

新男子寮長 國分 啓剛

3年間の寮生活、多くの時間を仲間たちと過ごし、たくさんの思い出ができました。入寮した当初は寮生活に慣れず辛くて、寂しくて、早く帰省したいと思うことがみんなにもあったと思います。しかし、寮は規則正しく生活をし、毎日の掃除や洗濯など、高校を卒業してからの生活に向けて、多くのことを学ぶことができる場所だと思います。私たちはこの3年間で学んだことを4月からの新しい生活で活かしながら、一生懸命頑張ります。1、2年生の皆さん、寮祭で楽しませてくれたり、3年生に気を配ってくれたりしてありがとうございました。舎監に来てくださった先生方、勉強を教えてください、一緒に話をしたり、たくさんご迷惑をおかけしましたが、3年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

前女子寮長 阿比留 美月

新年を迎え、本年度も残すところ僅かになりました。3月の卒業式を迎えると、3年生の仲間たちはそれぞれの夢の実現に向けて対馬高校を巣立っていきます。就職の内定や合格通知は、先生方の指導や後輩の応援がなければ勝ち取れなかったものだと思います。進路実現の手助けをしてくださり、とても感謝しています。1、2年生の皆さん、熱い応援をしてくれてありがとうございます。自分からお願いがあります。高校の3年間は長いようであつという間に過ぎてしまいます。自分のやりたいこと、夢をしっかり見据えて、何をどう頑張れば良いのかを考えて、1日を積み重ねてください。そうすれば卒業する時、きっと頑張ったよかったと思えるはずです。1度しかない高校生活、悔いの残らないように頑張ってください。最後に先生方、3年間大変お世話になりました。対馬高校で学んだことを活かし、進路先では更なるレベルアップに挑戦したいと思います。また、2次試験を控えている生徒もいると思います。最後の最後まで生徒のために全力の指導をお願いします。

前男子寮長 八坂 賢梧

進学指導部より

◇大学入試センター試験を迎えて

進学指導部

いよいよ受験を迎えました。1月14、15日に大学入試センター試験が本校にて実施され、この冬一番の寒波の中、本校69回生69名が受験しました。2月までに国公立大学の出願を行い、2月上旬から中旬にかけて私立大学や看護学校の入試に向かいます。卒業直前の2月25日に国公立大学の二次試験が行われ、結果が出る前に3月1日の卒業式を迎えます。生徒自身も、保護者の方としても、われわれ生徒にかかわってきた者としても、まだまだあわただしい日々が続いていきます。不安も少なくないと思いますが、まずはそれぞれの目指すところへ向かって前向きな気持ちで受験をしてほしいと思います。昨年度は国公立大学の追加合格の連絡が3月28日に来たりもしました。受験は本当に最後までわかりません。だからこそ次のステップに腰をすえるまで、みんなでがんばりましょう。



